

企業五行

常盤塾 丸山
2013.02.16(土)

構成要素の定義

技術:

購買:

生産:

販売:



(出所) 「競争優位の戦略」 M. ポーター (著) より作成

マーケティング

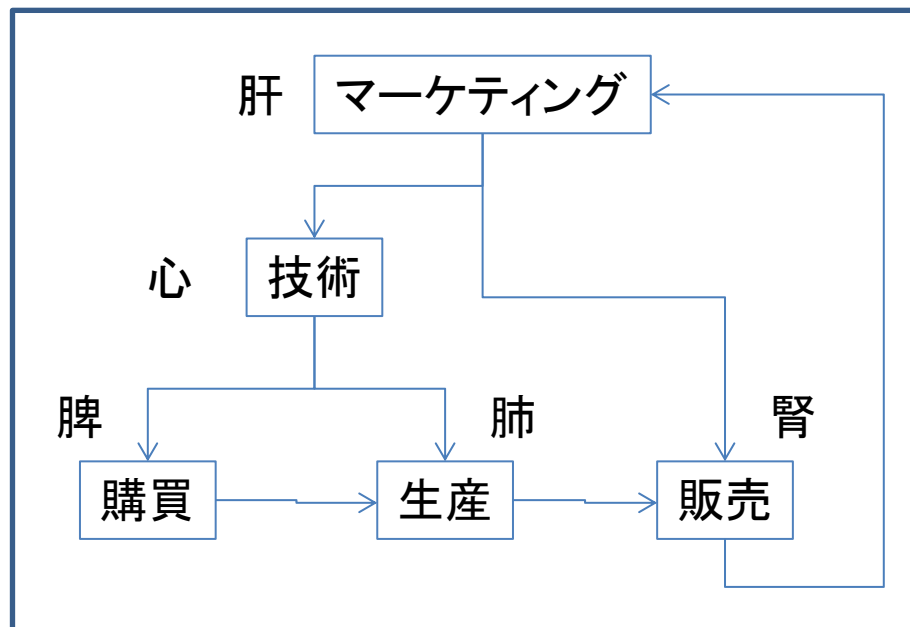
◎市場調査・分析、

◎価格設定、

◎広告・宣伝・広報、

◎販売促進

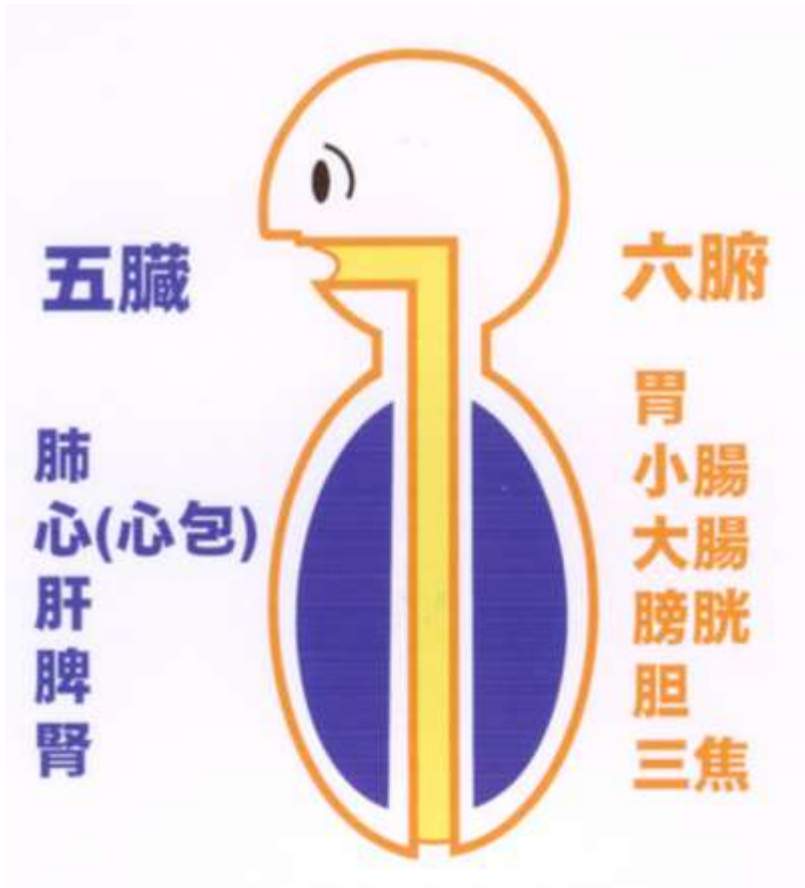
ユーザーの意見に耳を傾ける



「腑は物を伝達・変化させて蔵する(蓄える)事なし、
臓は精気を蔵して瀉す(漏らす)事なし」

- ・"六腑"とは、胃・小腸・大腸の消化管、膀胱、胆と
いった袋状の臓器、もう一つ三焦という全体を包み
込む大きな袋を総称したモノ。
- ・"五臓"とは、肝・心・脾・肺・腎...といずれも内側が
空ではなく肉厚な臓器。

“臓”は、内側がみっしりと詰まった臓器
“腑”は、中が空洞の袋または筒

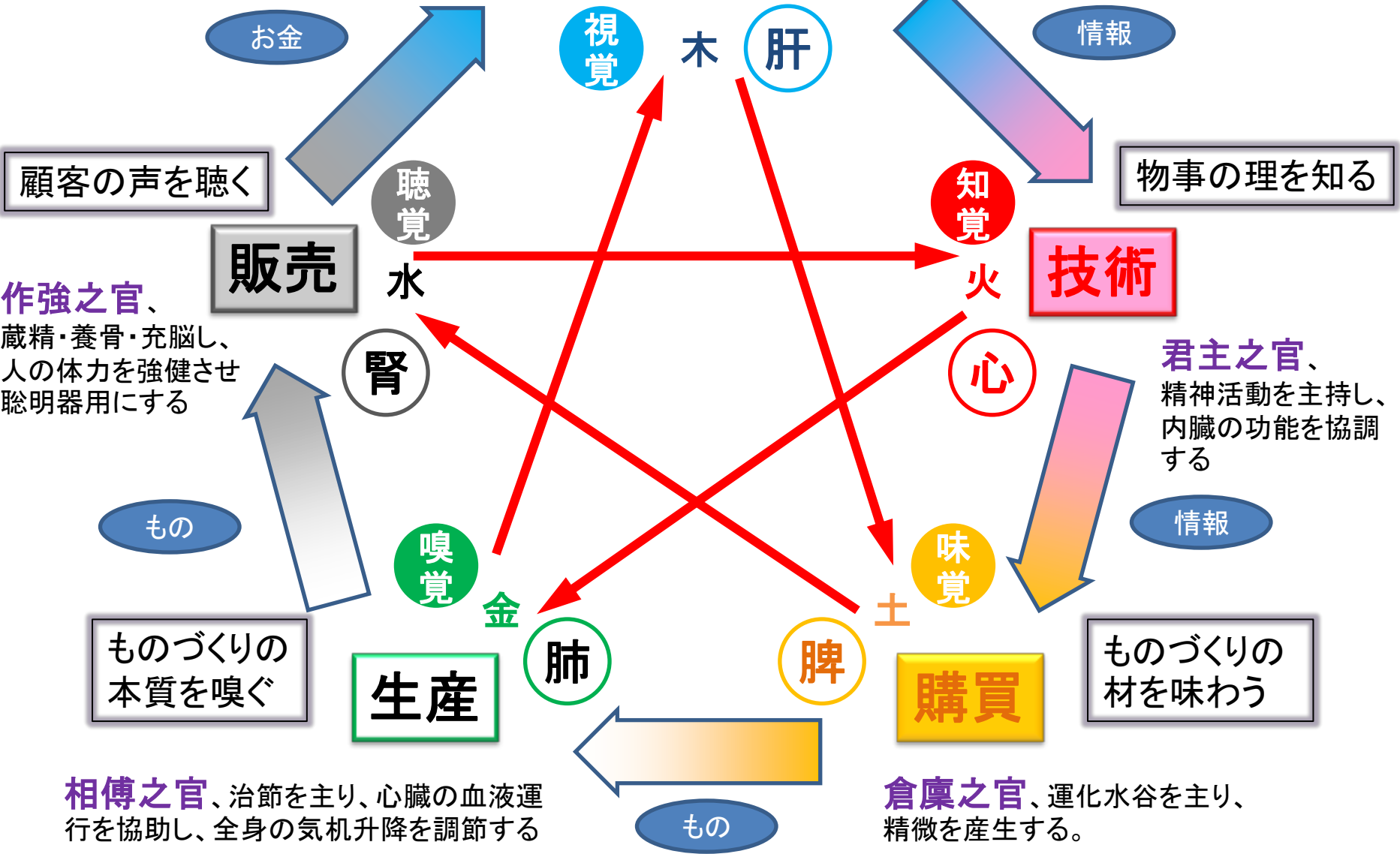


世の中の動きを見る

マーケティング

⇨ 相生
⇨ 相剋

將軍之官、深謀遠慮を主り、
精神情志活動を調節する



【相生】順送りに相手を生み出して行く、陽の関係。

①〈マーケティング〉→〈技術〉

：〈マーケティング〉から得られた情報を基に〈技術〉を生む。

②〈技術〉→〈購買〉

：〈技術〉に基づき、必要な用材を〈購買〉する。

③〈購買〉→〈生産〉

：〈購買〉により取得した用材を用い〈生産〉する。

④〈生産〉→〈販売〉

：〈生産〉した製品を〈販売〉する。

⑤〈販売〉→〈マーケティング〉

：〈販売〉の結果は〈マーケティング〉にFBされる。

【相剋】相手を打ち滅ぼして行く、陰の関係。

【相乗】乗とは陵辱する、相剋が度を過ぎて過剰になったもの。

〈マーケティング〉剋〈購買〉

：〈マーケティング〉が強すぎると、〈購買〉の自律を阻害し、〈購買〉が弱体化する。

〈購買〉剋〈販売〉

：〈購買〉が強すぎると、〈購買〉が〈販売〉を制御することになり、〈販売〉が弱体化する。

〈販売〉剋〈技術〉

：〈販売〉が強すぎると、〈技術〉の新しい取組みを阻害し、〈技術〉が弱体化する。

〈技術〉剋〈生産〉

：〈技術〉が強すぎると、〈生産〉の自律を阻害し、〈生産〉が弱体化する。

〈生産〉剋〈マーケティング〉

：〈生産〉が強すぎると、〈マーケティング〉の情報を聞き入れず、〈マーケティング〉が弱体化する。

例えば、「肝」が血液不足を起こせばその影響は肝の子供である「心」に影響を与えます(相生関係)。「肝」がオーバーヒートの熱を出せば、その影響は「脾」の働きを押さえ込みます(相剋関係)。つまり、貧血になると動悸がおきて(相生関係)、心配ごとがあると食欲がなくなる(相剋関係)というようなことです。この臓腑の関係を鑑みて診断するのが「漢方」の特徴のひとつでもあります。

例えば木が強すぎれば土に対する抑制が強くなりすぎ、土が弱体化します。これを「木乗土」といいます。また、木は正常でも土自体が弱っている場合、土を剋する正常な範囲の木の力に耐えられず、さらに土が衰弱してしまいます。これを「土虚木乗」といいます。

【相生】順送りに相手を生み出して行く、陽の関係。

木生火：木は燃えて火を生む。

火生土：物が燃えればあとには灰が残り、灰は土に還る。

土生金：鉱物・金属の多くは土の中にあり、土を掘ることによってその金属を得ることができる。

金生水：金属の表面には凝結により水が生じる。

水生木：木は水によって養われ、水がなければ木は枯れてしまう。

【相剋】相手を打ち滅ぼして行く、陰の関係。

木剋土：木は根を地中に張って土を締め付け、養分を吸い取って土地を痩せさせる。

土剋水：土は水を濁す。また、土は水を吸い取り、常にあふれようとする水を堤防や土塁等でせき止める。

水剋火：水は火を消し止める。

火剋金：火は金属を溶かす。

金剋木：金属製の斧や鋸は木を傷つけ、切り倒す。

【相乗】乗とは陵辱する、相剋が度を過ぎて過剰になったもの。

木乗土：木が強すぎて、土を克し過ぎ、土の形成が不足する。

土乗水：土が強すぎて、水を克し過ぎ、水を過剰に吸収する。

水乗火：水が強すぎて、火を克し過ぎ、火を完全に消火する。

火乗金：火が強すぎて、金を克し過ぎ、金を完全に熔解する。

金乗木：金が強すぎて、木を克し過ぎ、木を完全に切り倒す。

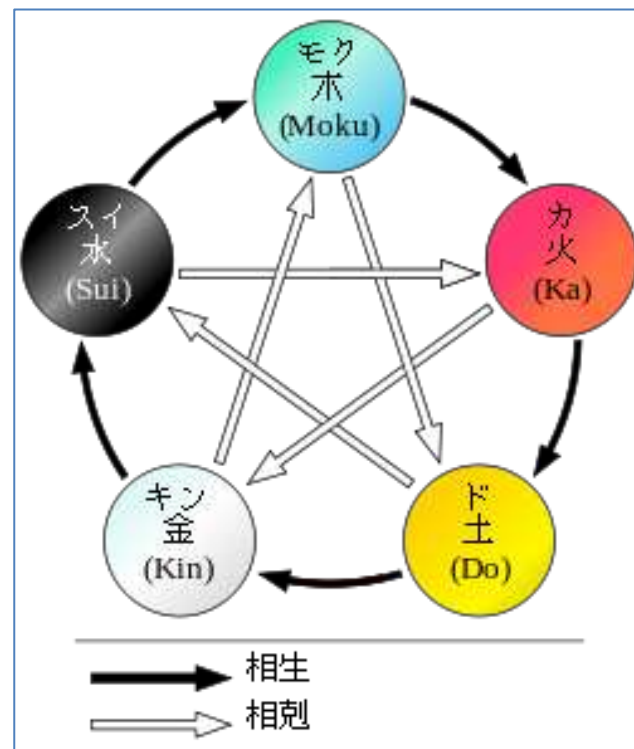
土虚木乗：土自身が弱いため、木剋土の力が相対的に強まって、土がさらに弱められること。

水虚土乗：水自身が弱いため、土剋水の力が相対的に強まって、水がさらに弱められること。

火虚水乗：火自身が弱いため、水剋火の力が相対的に強まって、火がさらに弱められること。

金虚火乗：金自身が弱いため、火剋金の力が相対的に強まって、金がさらに弱められること。

木虚金乗：木自身が弱いため、金剋木の力が相対的に強まって、木がさらに弱められること。



木(木行)

木の花や葉が幹の上を覆っている立木が元となっていて、樹木の成長・発育する様子を表す。「春」の象徴。

火(火行)

光り輝く炎が元となっていて、火のような灼熱の性質を表す。「夏」の象徴。

土(土行)

植物の芽が地中から発芽する様子が元となっていて、万物を育成・保護する性質を表す。「季節の変わり目」の象徴。

金(金行)

土中に光り輝く鉱物・金属が元となっていて、金属のように冷徹・堅固・確実な性質を表す。収穫の季節「秋」の象徴。

水(水行)

泉から湧き出て流れる水が元となっていて、これを命の泉と考え、胎内と靈性を兼ね備える性質を表す。「冬」の象徴。

五行	木	火	土	金	水
五方	東	南	中	西	北
五時	春	夏	土用	秋	冬
五曜	木曜日	火曜日	土曜日	金曜日	水曜日
五臓	肝	心(心包)	脾	肺	腎
五情	喜	楽	怨	怒	哀
五志	怒	喜・笑	思・慮(考)	悲・憂	恐・驚
五腑	胆	小腸(三焦)	胃	大腸	膀胱
五指	薬指	中指	人差指	親指	小指
五官 ^[1]	目	舌	口	鼻	耳
五塵	色(視覚)	触(触覚)	味(味覚)	香(嗅覚)	声(聴覚)